

義務教育学校稲田学園に関するアンケート (稲田学園児童生徒の保護者対象・未就学児の保護者対象) 調査結果

■ 調査期間

令和7年6月5日(木)～令和7年6月12日(木)

■ 調査対象者・回答数・回答率

稲田学園1～9学年に在籍する児童生徒の保護者 54名(回答率48.2%)

稲田幼稚園に在籍する幼児の保護者 5名(回答率27.8%)

■ 調査方法

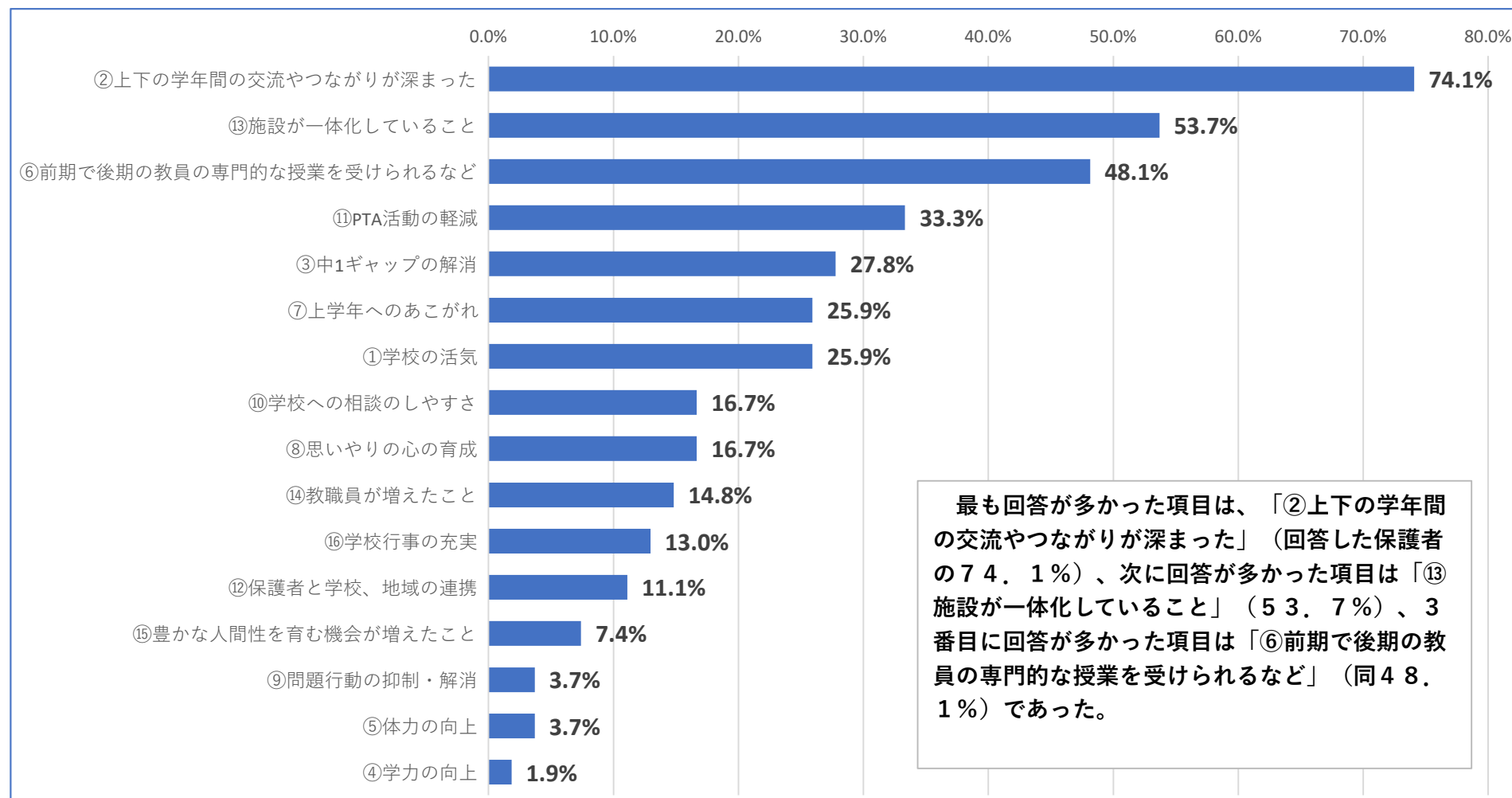
Google フォームによるWeb回答

(稲田学園の保護者はメール一斉配信システム、稲田幼稚園の保護者は文書で依頼)

須賀川市教育委員会

令和7年7月

質問1 いわゆる一般的な小学校（6年間）・中学校（3年間）から義務教育学校（9年間）になってよかったことはどんなことですか。【複数回答可能】 ※ 稲田学園に在籍する児童生徒の保護者112名のうち、54名が回答



質問2 義務教育学校としての課題、または、今後さらに充実させてほしい内容や取り組んでほしいことはどんなことですか。

※ 稲田学園に在籍する児童生徒の保護者が任意で回答

自由記述の内容をまとめると下記のとおりであった。

1 異学年交流の促進（7件）

9学年が一体となった行事の充実や、行事への地域参画等の要望。6年生が本来中心となるべき活動があると思うが、中学生がいるため力を発揮する場が少ないという意見。また、上下関係が同級生感覚で高校に入学した時に問題が起きるという懸念。

2 教員の質向上（3件）

現在の教員の指導力向上や、指導力のある教員の配置等に対する要望。

3 行事の改善・充実（3件）

運動会の一日実施や、現在実施していない行事等の実施に関する要望。また、炎天下の運動会練習への対策の要望。

4 その他（5件）

児童生徒数が少ないことによる人間関係の固定化等への懸念、学習環境の充実や国際的な交流の実施に関する要望。

質問3 保護者から見た、義務教育学校稲田学園ならではの「良さ」を教えてください。

※ 稲田学園に在籍する児童生徒の保護者が任意で回答

自由記述の内容をまとめると下記のとおりであった。

1 異学年交流の良さ（10件）

中学生が小学生の面倒をみて優しさを育んだり、小学生は中学生を目標にして自立したりするなど、幅広い年齢の子どもが関わりを持つことを通して成長できるという意見。これを集団としての一体感と感じている保護者もいる。

2 小中連携によるスムーズな進学と安心感（7件）

前期課程から後期課程に移行する際の学校生活がイメージしやすいので通常の小→中の進学によるギャップが少なくなるという意見や、後期課程の教員が前期課程の授業を担当することもあり、後期課程に進んでも情報の引き継ぎができているという意見があった。また、後期課程になってからも前期課程の教員が見守り、バックアップしてくれることや、部活動も前期課程のうちから間近で見たり体験したりできるという意見もあった。

3 子どもたちの様子・雰囲気の良い（6件）

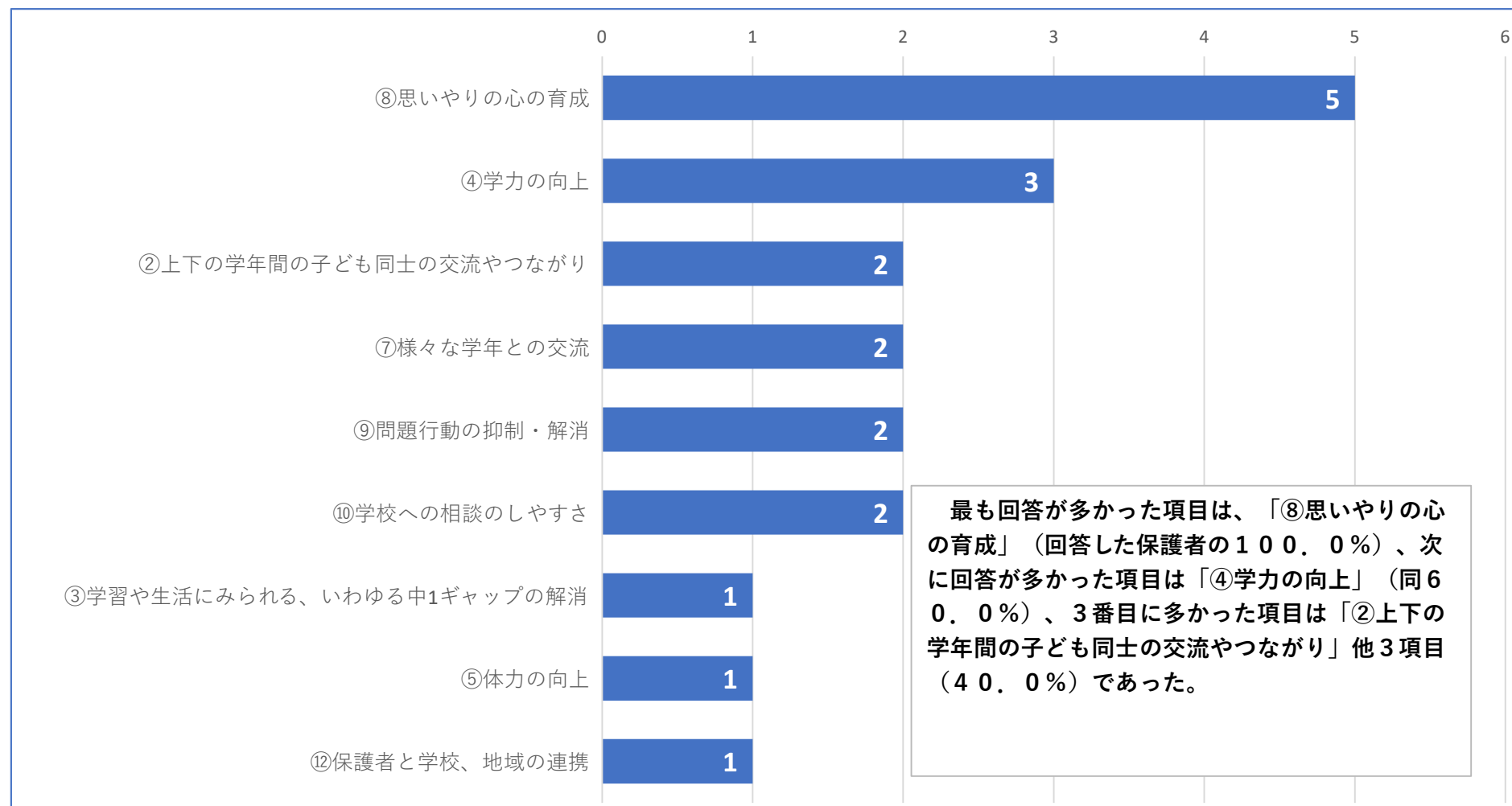
子供達が素直、元気で明るい。礼儀正しく、すばらしいあいさつができるという意見。また、学校全体が優しい雰囲気で、子供達が生き生きしているところがよいという意見、教員と生徒の距離が近く、一人一人の個性を大切にしてくれるという意見もあった。

4 その他（3件）

校舎の造りがおしゃれである、授業参観などが1日で済むので助かる、前期課程と後期課程で心や身体の成長に関することを分かる大人が多いという意見があった。

質問1 義務教育学校として、教育活動に関して、特に力をいれてほしいはどんなことですか。【複数回答可能】

※ 稲田学園に就学を予定する幼児の保護者のうち、5名が回答



質問2 その他、義務教育学校へ要望することがあれば記述してください。

回答した保護者はいなかった。

※ 稲田学園に就学を予定する幼児の保護者5名が任意で回答